

公益社団法人大阪狭山市シルバー人材センター  
令和3年度 事業報告

我が国においては、昨年引き続き新型コロナウイルス感染が拡大し、緊急事態宣言の発出、まん延防止等重点措置が適用され、シルバー人材センターの会員就業にも影響を与えました。

新型コロナウイルス感染症は今後も終息の目途が立たない状況です。こうした中、当センターにおいては、各会員が感染症予防としてマスクの着用、手指の消毒を行い、日々の健康に留意し就業いたしました。

今年度もシルバー人材センターに対する地域の期待に応えていくため、安全就業を基本に会員拡大を最大の目標とし、合わせて、地域のコミュニティづくりに努めるとともに、就業機会の拡大をすすめ、高齢者が健康で、生きがいをもって第2の人生を送れるよう、取り組みを進めました。

以下、令和3年度の事業実施状況について報告いたします。

## 事業実施状況

### 1. 会員の拡大と普及啓発活動の推進

- (1) 街頭啓発として、市内の主要駅や大型店舗での啓発、大阪狭山市主催の各種イベントでの当センターのPR予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により活動は見送りました。  
大阪狭山郵便局でのデジタルサイネージの放映、市内戸建ポスティングによる啓発活動を行いました。
- (2) 会報誌をより多くの市民に読んでもらえるよう、市の協力のもと、市広報誌にパンフレットを折込みました。
- (3) 会員一人ひとりが啓発担当となり、「1会員1名の会員勧誘」を目標に会員の拡大に努めました。
- (4) 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、ボランティア活動は見送りました。
- (5) 会員同士が自主的に活動している同好会の活動報告等について、ホームページや会報誌を活用してPRし、多くの仲間づくりに努めました。
- (6) 市の広報誌に当センターの関連記事を掲載していただき、広く市民にシルバーセンター事業への理解を深めました。

### 2. 就業機会の確保と適正就業の推進

- (1) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、就業開拓員の雇用を見送りました。
- (2) 会員一人ひとりがセンターの広報担当として、口コミによる就業開拓活動を推進し、新規の就業確保に努めました。
- (3) 就業基準に関する要綱に基づき、会員に公平な就業機会の提供を図り未就業会員の解消に努めました。

(4) シルバー派遣事業を推進するため、就業開拓を積極的に行うとともに希望する会員に対し各種情報の提供、就業機会の拡大に努めました。

### 3. 安全就業と健康管理の推進

(1) 安全委員会で、事故の原因分析を行い、事故の再発防止に努めるとともに、会報誌を活用し、安全就業や健康管理の啓発に努めました。

(2) 安全委員や安全就業推進員による就業先への安全パトロールを定期的実施し、就業現場の安全指導に努めました。また、新規受注にあたっては、事前に就業環境を把握し、安全確保に努めました。

(3) 安全講習会開催においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、開催を見送りました。

入会説明会においては安全就業の重要性を十分説明し、安全意識の高揚に努めました。

(4) 会員の健康管理について、認識を深めるため、会報誌を通じて健康に関する情報を掲載しました。

### 4. 研修・講習会の実施

(1) コロナウイルス感染症の拡大に伴い、会員に対する各種研修会、講習会等の実施を見送りました。

(2) 派遣会員について、キャリアアップに資する教育研修を実施し、接遇の向上や個人のキャリアアップに努めました。

### 5. その他

(1) 事務局職員の資質の向上を図るため、関係機関等主催の各種研修会へ積極的に参加し、他市センターとの情報交換を図り、当センターの発展に努めました。

(2) 会員同士の親睦を図るため個々の趣味を生かした活動を行えるよう、会報誌等でPRに努めました。

(3) 会員の知識、技術の習得する場や受注した仕事の作業場及び各種研修会、会議の場として、また会員の活動拠点としてワークプラザを積極的に活用しました。